

振り向くな！ 竜北生は美しい！

校長 尾崎 淳一



うつ向くなよ ふり向くなよ 君は美しい 戦いに敗れても 君は美しい
今ここに青春を刻んだと グランドの土を手にとれば 誰も涙を笑わないだろう 誰も拍手を惜しまないだろう
また逢おう いつの日か また逢おう いつの日か 君のその顔を忘れない
うつ向くなよ ふり向くなよ 君は美しい 悔しさに震えても 君は美しい
ただ一度めぐり来る青春に 火と燃えて生きてきたのなら 誰の心も打てるはずだろう 誰の涙も誘うはずだろう
また逢おう いつの日か また逢おう いつの日か 君のその顔を忘れない

これは、私の心を震わす昭和の名曲、『ふり向くな君は美しい』の歌詞です。「全国高等学校サッカー選手権大会」の大会歌として、現在もテレビ中継などで使用されており、聞き覚えのある竜北生の皆さんもあるでしょう。「えっ、知らないし」という人は、冬のテレビ中継を待たなくても各種メディアで配信されていますので、ぜひ聴いてみてください。私の生歌（有料・高額）でも聴けます！

さて、全てのスポーツにおいて、試合後には「勝者」と「敗者」があります。トーナメント戦においては、サッカーならPK戦、ラグビーは籤引き（くじびき）までして、「勝者」と「敗者」を決定しなければなりません。この『ふり向くな君は美しい』が人の心を打つのは、「敗者」に強くスポットを当てている点です。勝利を目指して同じように努力し、鍛錬してきた両者が、わずか数十分の後には明暗を分けることとなりますが、力を尽くしたその姿に優劣などなく、「勝者」も「敗者」もありません。

「竜北サッカー部」は、5日（土）の1回戦で、多くの時間でボールを保持し、よく走り、よく攻め、よく守って、2-0のスコアで快勝しました。最後まで声を掛け合い、ボールを追い回して、相手が自由にプレーする時間を与えない。まさに、強豪チームの試合ぶりでした。ご存じのように、サッカーは伝統的に刈谷の学校が強く、西三大会出場は困難を極めます。しかし、このプレーを再現できれば、更なる強豪校にも勝てるはず、そして西三河大会出場も現実となると、大きな期待を抱きました。

12日（土）の試合は、残り15分の時点で0-1とリードされていたものの、竜北チームの動きは全く衰えず、短い残り時間で2点を奪い返して見事に逆転しました。そして、西三大会出場を決めました。試合で活躍した選手をはじめ、ベンチからの掛け声も、1年生の素晴らしい応援歌も、保護者の皆様と教員の祈りや声援も、全てが一つになった「チーム竜北」での素晴らしい勝利でした。そして、ハーフタイムの「竜北生、G o!!」も選手一人ひとりの背中を押したものと、私は勝手に信じて疑いません。そうですよね？



西三大会出場を決めた部は、相手も強くなりますが、竜北生の誇りを胸に正々堂々と戦っててください。無念の敗退となった部も、俯いたり振り向いたりする必要はありません。勝ち負けに関係なく、これまでの努力は貴く、全ての竜北生の姿は美しいのですから。

まもなく夏季休業に入ります。1年生にとって「中学校生活初の夏休み」、2年生にとって「部活動の柱となる夏休み」、3年生にとって「進路と正面から向き合う夏休み」となります。これまでの学校中心から家庭中心の生活へと移りますが、竜北生の自覚をもつと共に、心身共に健康な毎日を送れるよう願っています。夏休みも「チーム竜北、G o!!」